

## 第 259 回 昭和の森自然観察会

### 夏の森を歩こう！

木嶋恵子（睦沢町）

日 時：2013 年 7 月 1 4 日（日）13:00～15:00

参加者：子ども 13 名 大人 13 名 指導員 15 名 計 41 名

担当指導員：竹内利子 川北紀子 木嶋恵子

梅雨明け以後、連日の真夏日に公園で遊ぶ人もまばらでしたが、3 班に分けての観察会になりました。「クイズ」を解くことを軸に「昭和の森」公園を紹介しながら、夏の森を歩く楽しさを体感してもらうことを目的としました。コースは東屋下を出発し、冒険広場の端・太陽の広場の端を通り、市町村の森を抜け、展望台に上がり、四季のみちから下夕田池へ出て、ビオトープや田んぼを見て、花菖蒲園から帰るというものでしたが、3 班のみ逆コースをたどりました。

公園の概要を説明した後出発、公園の標高を基にした問題（②・③）では、分水界や太平洋までの距離を考えました。参加者にとっては新しい発見だったようです。川北さんの立体模型は、ここに降った雨が三方向に分かれることを容易に理解でき好評でした。展望台での眺望は素晴らしく、眼下に小中池、少し先に圏央道がみえました。地平線は霞んでおり、残念ながら太平洋は見えませんでした。

公園で出会う沢山の生物についての問題（①・④・⑤・⑥・⑦・⑧）では、樹形・野鳥・スイレン・オトシブミ・カエル・カワニナ等について考え観察しました。残念ながら、午前中には聞こえたホトトギスのさえずりは聞けず、カエルの姿もありませんでした。カワニナの観察後、「ホタルの一生」についての図を使った説明は、参加者の理解を深めたようです。生物についての設問の難しさや補足資料の大切さを感じました。問題以外でも参加者は、たくさんの生物を見つけ、目に留め、感心していました。カエダやコブシの実・クリの若い実・ヤマユリ・ツタウルシ・アメンボ・ドジョウ・イチョウウキゴケ・ジカキムシ・アオバハゴロモの幼虫等です。

また、これらを観察するために歩いたことで、この公園の広さを実感し、大木揃いの森に入ると意外に涼しく、気持ち良さを体感できたようです。

参加者の感想としては、この公園に初めて来た人や観察目的では初めてという人が多かったせいか、満足した声が大半でした。次へつながったら嬉しいです。

